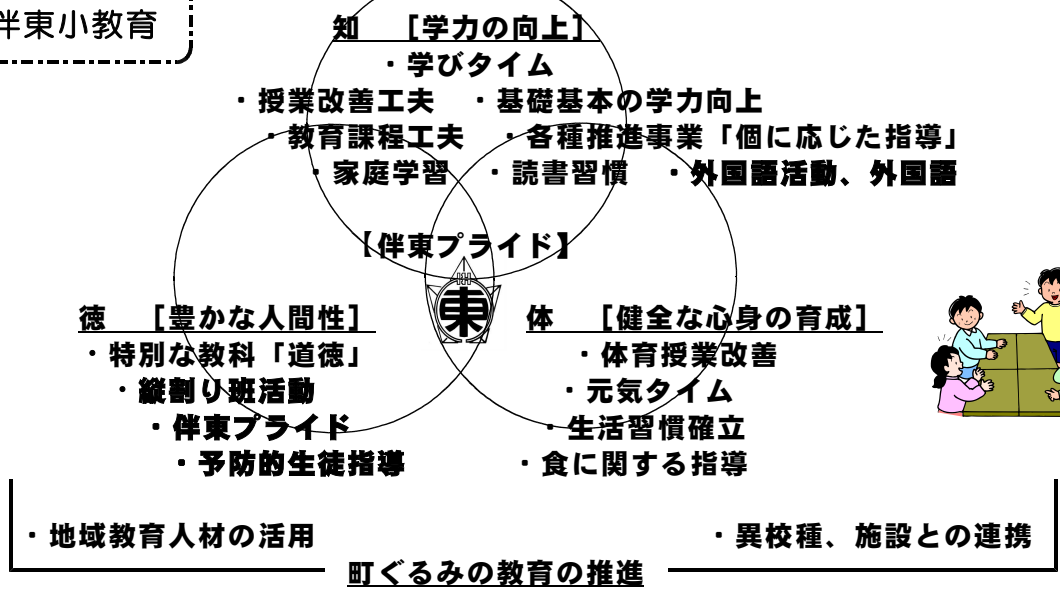


伴東小教育



平成30年度 学校経営方針

1. [学校目標]

「進んでものごとに取り組み、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」

2. [目指す子ども像]

- ・ (知) 人の話をよく聴き、自分の考えや思いを伝えることのできる子
- ・ (徳) 親切で思いやりのある子
- ・ (体) 健康な心と体づくりに努める子

[目指す学校像]

- ・ 子どもが自分の力を最大限発揮でき、自己存在感をもつことができる学校
- ・ 教職員同士が、信頼と協調に支えられて明るく連帯感のある学校
- ・ 整備された教育環境のもとで、保護者・地域と共に育てる開かれた学校

3. 経営の方針

[学力の向上]基礎基本の学力定着向上と、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

- 朝の始業時間や帯時間等の活用・・・朝の読書タイム、音読タイム、元気タイム
午前中の始業前15分の学びタイム
- 合同授業や交換授業、T・T、出前授業等、授業形態の工夫
・・・職員の得意を生かすきめ細やかな指導
分かりやすく楽しい授業づくり(授業改善)
- 教育課程の工夫・・・広島型カリキュラム
新学習指導要領に基づいた学習指導
新学習指導要領を見据えた教科指導
特別な教科「道徳」、外国語活動 外国語

- 研究をいとわない教職員集団・・・学力向上推進「個に応じた指導」指定
英語教育実践研究(指導加配)
小・中連携教育推進

研究テーマ：「思考力・表現力を高める授業の創造」(2年次)
～算数科における、導入部分の工夫を通して～

[豊かな人間性]規範意識や自己肯定感を基盤に、共感的人間関係を育成する。

- 「特別な教科 道徳」の推進
 - ・ 他教科や行事と関わらせた道徳の授業を行ったり、道徳で学んだことを日常の中で振り返ったりする活動を多く取り入れ、自己肯定感を養い、規範意識を育てる。
- 【伴東プライド】の取組を推進し、道徳心と生活力の向上を図る。
 - ・ 月別生活目標への位置づけ
 - ・ 教職員自らの実践
 - ・ 学年・学級の工夫した実践
 - ・ 児童会行事・日々の活動と連動させて実践
- 「予防的生徒指導プログラム」を通して、豊かな人間関係づくり、楽しい学校・学級づくりを推進していく。
 - ・ ライフスキル教育
 - ・ 協同学習とコミュニケーション活動
 - ・ 異年令集団におけるピア・サポート的交流活動(縦割り班活動)
 - ・ ふれあい相談窓口・コンサルテーション会議の充実 等

【伴東プライド】

- 一、人を大切にします
- 一、正しい行いをします
- 一、自慢できる伴東にします

私は「人としての美しさを
求め、学びます」

tomohigashi-pride

[健全な心身の育成]すすんで、体力づくり・心と体の健康づくりに努める子どもを育てる。

◎運動の好きな子どもを育てるために

- 体育の授業改善
 - ・ 授業に、柔軟運動・体ほぐし・縄跳びなどの運動を導入
 - ・ 学習の場づくりを工夫し、運動量や活動時間を増やす。等
- 朝の始業時間に元気タイム
 - ・ 全校運動により、運動の楽しさを知らせるとともに、新体力テスト等の課題を克服

◎健康づくりに努める子どもに

- 家庭と連携して、基本的な生活習慣を確立する。
 - ・ 生活リズム調べアンケート等を中心とした取組
 - ・ 「スマホ・携帯電話」に係る取組(小中連携推進)
 - 「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。
 - ・ 食育授業や給食指導の推進
 - ・ 学校栄養職員等学校担当制
- 伴中の栄養士と本校食育担当者による食に関する年間指導計画の作成と実施



[町ぐるみの教育の推進]地域と共に歩む、開かれた学校をつくる。

- 地域の人材を活かして・・・読み聞かせ(あのねの会)伴東社協 老人会
ともひがしくらぶ(コミュニティランド)
- 異校種との連携・・・アソカこども園との幼・保・小連携
小(6)中(3)高(3)大(4)の連携:『十六の会』
- 町の文化施設等との連携・・・公民館、福祉施設しんあい、交通科学館
広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター

